

【6.6.1.3】欧州における特許を対象にした出願前調査

Q

自社のアイデアを特許出願したいが、事前にやっておくことはあるか？

1) 調査ツールの選択

欧州における特許は、欧州特許庁（以下、EPO）が提供する Espacenet、世界知的所有権機関（以下、WIPO）が提供する PatentScope やドイツ特許商標庁（以下、DPMA）が提供する DEPATISnet などに収録されており、いずれを利用しても KW 検索や分類検索を行うことが可能である。ここでは、高度な論理検索（KW などの AND 検索や OR 検索）ができること、HIT した文献を日本語に翻訳する機能があることなどを考慮し、WIPO の PatentScope を利用した事例を紹介する。

2) 検索事例

PatentScope の検索画面は下記 URL から接続することができる。日本語版以外にもモバイル版、英語版、ドイツ語版、中国語版、韓国語版など複数のインタフェースが用意されている。また、検索画面には 4 つの検索モードが用意されているので目的に合わせてモードを選択する。

<https://patentscope.wipo.int/search/en/search.jsf>

◆ 検索モードの紹介

簡易検索：フルテキストや氏名(名称)など 8 種類の検索フィールドから 1 つを選んで検索を行う。

詳細検索：検索ボックスに検索語、検索式、フィールドコードなどを指定した検索構文を入力して、複数の条件を組み合わせた検索を行う。

構造化検索：発明の名称や要約など複数の検索フィールドでそれぞれ検索条件を指定し、それらの条件を組み合わせた検索を行う。

多言語検索：入力した検索用語を自動的に 12 言語に翻訳し、その全てを使って特許文献の検索を行う。



今回は、複数の検索項目を設定でき、より目的に近い検索ができることから「構造化検索」モードを選択した事例を紹介する。

◆調査目的および調査対象

調査対象例として下記の調査目的および開発技術を設定した。

調査目的：自社で以下の技術を開発した。欧州において特許出願をしたいので先行技術を確認する

<自社開発技術>

主題：「エスプレッソメーカー」

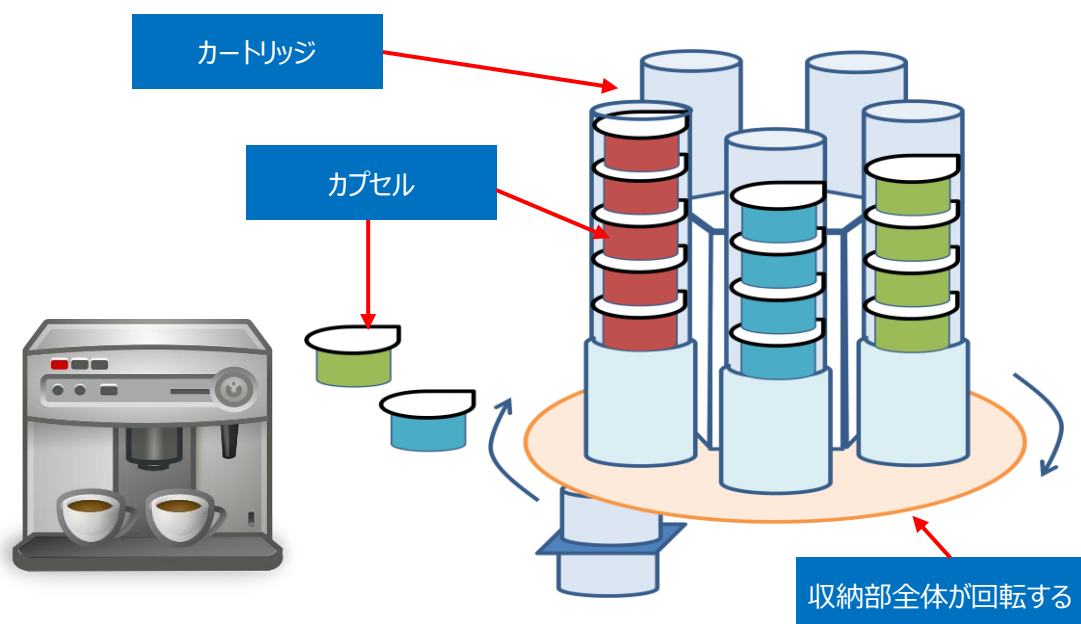
広義の主題：「飲料用抽出装置」

[コンセプト]

- ・ホテル・コンビニ・職場・家庭などで広く使うことのできる、一台で多種多様な味が楽しめるエスプレッソメーカーを提供する。
- ・予め装置の中に複数種類、複数個のカプセルをストックしておけるようにする。
- ・操作はできるだけ簡単にする。

[装置の主な構成]

- ① 飲料用抽出装置、いわゆる、エスプレッソメーカー
 - ・エスプレッソだけではなく、お茶その他の飲料用でも可
- ② 複数種類の（コーヒー粉末などの入った）カプセルがある
 - ・例えば、コーヒーの種類などが異なる複数種類のカプセル
- ③ それらのカプセルはまとめられ、収納ケース（カートリッジ）に収納されている
 - ・例えば、筒状の収納ケース（カートリッジ）があり、収納ケース内には同じ種類のカプセルが収納されている
- ④ 複数のカートリッジが収納されている収納部を回転させることにより所望の種類のカートリッジを供給することができる
 - ・例えば、収納部が回転し、位置合わせされ、指定した種類のカプセルが抽出部にセットされる



◆予備検索・準備編

調査を行う前に、該当技術に対応する特許分類の選定や、適切な技術用語を特定しておく必要がある。技術用語については、単純な英訳ではなく、同義語や上位概念も含め適切な KW を特定しておく必要がある。

①該当技術に対応する特許分類の特定

特許分類の定義や周辺の特許分類は独立行政法人工業所有権情報・研修館が提供する「特許情報プラットフォーム J-PlatPat」の「パテントマップガイダンス (PMGS)」を利用することで参照できる。

https://www5.j-platpat.inpit.go.jp/pms/tokujitsu/pmgs/PMGS_GM101_Top.action

J-PlatPat のパテントマップガイダンス(PMGS)の画面のタブで「キーワード検索」を選択し、検索する特許分類として FI を選択し、「キーワード」の欄に例えば【エスプレッソ】を KW とし FI 検索をした結果、FI:A47J31/30 にエスプレッソメーカーに関連すると思われる分類があった。これを手がかりに IPC を確認する。

パテントマップガイダンス (PMGS) ? ヘルプ

FI・Fターム、IPCの説明を照会できます。また、キーワードから分類を検索できます。

公報発行、更新予定については、[ニュース](#)をご覧ください。

改廃情報：
FI改正情報 テーマ改廃情報 テーマコード表 IPC改正情報
分類・Fタームに関する情報：
[パテントマップガイダンス\(旧\)情報](#) [IPC分類表及び更新情報](#)

照会 **キーワード検索** コンコダンス検索

照会画面項目を選択後、キーワード、サーチ範囲を入力し(いずれか一方でも可)、検索ボタンをクリックしてください

照会画面

☒ FI ☐ FIハンドブック
☐ Fタームリスト ☐ Fターム解説
☐ IPC第8版(日付指定) 20170307

キーワード

AND

サーチ範囲(分類)

表示種別 ☒ 一覧表示 ☐ ターゲット表示 ☐ 同階層表示

検索

FI	説明
A47J31/06,300	・圧力下でコーヒーを抽出するためのもの、例、 エスプレッソ マシン用（紙製 A 4 7 J 3 1 / 0 8）
A47J31/08,105	・圧力下でコーヒーを抽出するために使用されるもの、例、 エスプレッソ マシン用
A47J31/30,100	・古典的な エスプレッソ 装置、例、ストーブの上に置かれるもの、すなわち水は下部の気密沸騰容器内で加熱され、蒸気圧によって上昇パイプおよび抽出チャンバを通り、次に漏れかし器の上部の飲料容器内に集められるもの

PMGSのIPC分類表よりA47J31を参照し、前後の分類や上位階層の分類を確認したところ、今回の主題であるエスプレッソメーカーに該当する分類はA47J31/24およびA47J31/30であることがわかった。今回の事例の場合、広義の主題として「飲料用抽出装置」を設定しているため、上位分類であるA47J31/00を選択するが、エスプレッソメーカーに絞って検索をする場合にはA47J31/24を選択することが好ましい。

IPC	説明
・ 31/00 (2006.01)	飲料を作る装置（家庭用の食料品ろ過機械またはろ過器具A47J19/00；非アルコール飲料の調製，例．果実または野菜ジュースに対する成分添加によるもの，A23L2/00；コーヒーまたはティーポットA47G19/14；ティーインフューザーA47G19/16；ビールの醸造C12C；ぶどう酒または他のアルコール飲料の調製C12G）〔5〕
・ 31/02 (2006.01)	・ 飲用容器の上に置かれ，取外し自在な抽出容器，例．コーヒーフィルター，を有するコーヒー製造機（フィルターA47J31/06）
・ 31/04 (2006.01)	・ 上昇管を有するコーヒー製造装置
・ 31/043 (2006.01)	・ ・ 粉碎済のコーヒー豆の入った上部容器まで熱湯を送り，加熱源が遮断されると水が真空のためにフィルターを通して下部容器内に吸引される作用の上昇管を有する真空型コーヒー製造装置
・ 31/047 (2006.01)	・ ・ 熱源の自動遮断を有するもの
・ 31/053 (2006.01)	・ ・ フィルターを通り繰り返し循環してこすもの
・ 31/057 (2006.01)	・ ・ 飲料容器と分離された水容器を有し，熱湯が一回だけフィルター
・ 31/06 (2006.01)	・ コーヒーまたは茶製造器具のフィルターまたはろ過器
・ 31/08 (2006.01)	・ ・ そのための差込紙製フィルター
・ 31/10 (2006.01)	・ 煎出容器が飲料容器の上または上部にあるコーヒー製造装置；ドリ
	造器（A47J31/02が優先）
・ 31/12 (2006.01)	・ ・ 熱湯の蒸気がフィルターを越えて上昇し凝縮後フィルターを通るもの
・ 31/14 (2006.01)	・ 注出口内にまたはその後部にフィルターを有するコーヒーまたは茶製造装置
・ 31/16 (2006.01)	・ 下部で水を沸騰させ次にフィルターを通すために転倒させられる転倒コーヒー製造装置
・ 31/18 (2006.01)	・ 粉碎済コーヒー豆または茶葉が飲料容器の熱湯中に浸される装置
・ 31/20 (2006.01)	・ ・ 浸せきが可能な，例．回転可能な，フィルターをもつもの
・ 31/22 (2006.01)	・ ろ過済コーヒーを作る遠心分離機（A47J31/20が優先）
・ 31/24 (2006.01)	・ 圧力下で熱湯をフィルターに通すコーヒー製造装置（A47J31/043が優先）
・ 31/30 (2006.01)	・ ・ 蒸気圧下で熱湯を用いるもの

メイングループ
A47J31/00 内の
「IPC」より抜粋

②技術用語の特定（英語）

日本語のKWに対して考えられる英語のKWを設定し、そのうえで、さらに関連したKWを検討し、検索に用いる英語のKWを決定する。

発明（構成要件）	日本語KW	英語KW	検討事項、他のKW等
前提技術	コーヒーメーカー		KWではなく、IPC=A47J31（飲料を作る装置）で限定する
特徴1（KW1）	エスプレッソ	Espresso	エスプレッソ以外の表現を検討→「抽出/extract」
	(飲料用)抽出	extract	
特徴2（KW2）	カートリッジ	cartridge	カートリッジ→差し替え可能な収容容器（カプセルが収納される）
	カプセル	capsule	カプセル→コーヒー豆の粉末等が密封されたもの

調査対象集合は、前提技術と構成要件の特徴技術とを掛け合わせることで作っていく。今回の事例の

場合、前提技術は IPC で限定することとし、特徴技術について KW を設定した。また掛け合わせについては、以下のように設定した。

<検索方針>

前提技術：IPC=A47J31/00（飲料を作る装置（主題を包含する特許分類））

KW1：Espresso or Extract

KW2：Cartridge or Capsule

検索式=EP and IPC and KW1 and KW2

前提技術

構成要件の特徴技術

集合 1

飲料を作る装置（IPC= A47J31/00）

集合 2

KW1：エスプレッソ+抽出

集合 3

KW2：カートリッジ+カプセル

◆実践編

構造化検索

表紙		
及び	国名 (国コード)	= EP
及び	出願番号	=
及び	要約 (英語)	= Espresso or Extract
及び	要約 (英語)	= Cartridge or Capsule
及び	要約 (英語)	=
及び	出願人氏名 (名称)	=
及び	国際特許分類	= A47J31/00
及び	発明者氏名 (名称)	=
及び	官庁コード	=
及び	明細書 (英語)	=
及び	請求の範囲 (英語)	=
及び	ライセンスによる利用可能性	=
(及び	発明者氏名 (名称)	のデータ ● 特定せず ○ 無し ○ 有り)

言語: 英語

語幹処理適用: ☒ 官庁: 全て Specify ⇨

0 検索結果 検索 リセット

(+) 検索フィールドを追加 | (-) 検索フィールドをリセット ツールチップ ヘルプ 有効化 ☐

検索対象とする特許分類および KW を設定したので、PatentScope にアクセスし欧州特許に対する検索を行う。まず検索モードとして「構造化検索」を選択し、検索言語を「英語」に変更する¹。これにより、英語で収録されている情報、特に要約や請求項など明細書本文のテキスト情報に対し英語で検索することができるようになる。今回は検索式に英語の KW を使用するため、この手順が必要となる。

言語を指定したら、左側のプルダウンメニュー（どの行でも良い）から「国名（国コード）」を選択し右側の検索ボックスに【EP】を、「要約（英語）」を選択し前述の KW1～2 を、「国際特許分類」に【A47J31/00】を入力する。一般的に特許分類を検索する際には、下位分類を含む検索・含まない検索の条件設定に気を配る必要がある。A47J31/00 はコーヒー製造装置に対応する最上位の特許分類であり、エスプレッソメーカー（A47J31/24～）は、その下位分類となる。PatentScope における特許分類検索は下位分類が自動的に含まれるようになっている。そのため特許分類の指定としては A47J31/00 のみ入力すれば良い。なお、全文ではなく要約を選択したのは、全文検索だとノイズ（技術的に全く無関係な特許）が増えることが予想されるためである。

この状態で「検索」ボタンをクリックすると、以下のような検索結果が表示される。

¹ PatentScope はテキスト情報が原語で収録されている。そのため KW 検索において検索言語を適切に設定する必要がある。英語以外の KW で検索する場合には、画面左下の「言語」を入力する言語にあわせるか「全言語」を指定する必要がある。本書では言語を英語に設定する手順を紹介している。

WIPO PATENTSCOPE
国際・国内特許データベース検索

検索結果: 1 - 10/264 件 検索条件: CTR:EP AND EN_AB:(Espresso or Extract) AND EN_AB:(Cartridge or Capsule) AND IC:A47J31/00 言語:all 言語:EN 語幹処理:true

絞り込み検索: CTR:EP AND EN_AB:(Espresso or Extract) AND EN_AB:(Cartridge or Capsule) AND

並び替え: 関連性 View 詳細表示 表示件数: 10 自動翻訳

国際特許分類	出願番号	発明の名称	出願人	CTR	公開日
1. 0521188	Device for extracting cartridges.			EP	07.01.1993
A47J 31/40	91111211	NESTLE SA	FOND OLIVIER		

The invention relates to a device which allows extraction from cartridges and which can be fitted on an espresso coffee machine, comprising a cartridge-holder support (14) with a handle (17) and clamping tabs adapted to the clamping collar (2) and to the clamping surfaces (ramps) (13) of the machine, a cartridge-holder (15) accommodated in the said cartridge-holder support and a water collection part (16) mounted pivotally on the handle of the cartridge-holder support, which can be folded over the upper edge of the cartridge-holder and has a water distribution grid (24).

上図は 1 件しか示していないが実際の画面には HIT した特許が要約とともに一覧形式で表示される。自動翻訳機能を使えば表示内容を日本語にすることもできる。詳しい内容が知りたいときは左側の「公開番号」をクリックする。その特許の書誌情報、請求項、図面などの情報が得られ、さらに明細書本文も確認することができる。これらの請求項や明細書本文のテキスト情報についても自動翻訳機能を利用することができる。

国際特許分類	出願番号	発明の名称	出願人	CTR	公開日
1. 0521188	カートリッジを抽出するための装置。			EP	07.01.1993
A47J 31/40	91111211	NESTLE SA	FOND OLIVIER		

本発明は、可能装置に関する抽出からカートリッジ上に装着することができるエスプレッソ含む、コーヒーマシンカートリッジ/ハンドル (17) と支持体 (14) -holder をクランプカラー (2) 及びに適合タブをクランプマシンのクランプ面 (ランプ) (13)、カートリッジ述べ内に収容-holder (15) カートリッジのサポートと水回収部 (16) のハンドルに旋回可能に取り付けられた-holder カートリッジ缶サポート-holder、上縁の上に折り畳まれるカートリッジ-holderと水分配グリッド (24) を有しています。

国際特許分類	出願番号	発明の名称	出願人	CTR	公開日
2. 2120653	飲料調製装置およびシステム			EP	25.11.2009
A47J 31/00	08710239	CONCEPT & DESIGN LTD	LEVIN SHALOM		

飲料製造システム、製造方法、および安全に飲料を調製するためのカップ部と係合するための装置。飲用液体は、カップ部内に供給されたが、別に保持されるカプセルもカップ部内に配置された食用成分の所定量を含有調製要素。調製要素があってもために必要などの圧力の下で任意の外部からの支援なしにその完全性を保持する形状に構成されたエスプレッソドリンクの準備。飲料調製装置によって作動抽出、カップ部の飲用液体を加熱/冷却室でそれ処理し、カップ部に所定の圧力および持続時間で処理液を戻します。動作は、カップ部の密閉カバーに設けられた命令ソースに関連付けられた予めプログラムされた命令に従って行われます。

これらの HIT 文献を 1 件ずつ確認していくと、以下のような公報を見出すことができる。

WIPO PATENTSCOPE 国際・国内特許データベース検索

WORLD INTELLECTUAL PROPERTY ORGANIZATION

検索 閲覧 翻訳 オプション 最新情報 ログイン ヘルプ

ホーム > 知財権サービス > PATENTSCOPE

22. (EP124781) Extraction apparatus with integrated cartridge supply system

国内特許情報 明細書 請求の範囲 図面 審議

パーマリンク/ブックマーク: (0/0)

出願番号: 01108382 出願日: 03.04.2001
公開番号: 1247481 公開日: 09.10.2002
公開種別: B1
指定国: AT,BE,CH,CY,DE,DK,ES,FI,FR,GB,GR,IE,IT,LI,LU,MC,NL,PT,SE,TR.

IPC: G07F 11/44
G07F 13/06
A47J 31/38
A47J 31/40
G07F 9/02

出願人: NESTLE SA
発明者: DENISART JEAN-LUC
COLANTONIO JEAN-LUC
SCORRANO LUCIO

優先権情報: 01108382 03.04.2001 EP

発明の名称: (FR) Dispositif d'extraction avec système de chargement en capsules intégré
(EN) Extraction apparatus with integrated cartridge supply system
(DE) Extraktionsvorrichtung mit integrierter Kapselzuführereinrichtung

要約: (FR) L'invention concerne un dispositif d'alimentation en capsules contenant une substance à extraire dans un système d'extraction sous pression pour la préparation d'une boisson comprenant un moyen d'emmagasinage (10) comprenant des capsules (5) ordonnées selon plusieurs séries (11), des moyens (20,30) pour décharger individuellement une capsule (5) dans une partie de réception (43) du système d'extraction caractérisé en ce que la partie de réception (43,44) du système d'extraction est arrangée en dessous des moyens de déchargement (20,30) de façon à permettre la descente directe de la capsule libérée dans la partie de réception (43,44) et en ce que la partie de réception comprend des moyens d'ouverture (45) de la capsule aptes à libérer l'extrait liquide.
(EN) The system for feeding capsules of coffee into an extraction unit in a coffee machine comprises cartridges (11) in which the capsules are stacked. These are mounted on a carousel (10). The support platform (20) allows individual capsules to descend into the unit, which is fitted with a toothed plate to open them.

カートリッジ

カプセル

回転する

<開示内容>

A: エスプレッソメーカー

B: コーヒー粉末などの入ったカプセルがカートリッジ内に予め収納されている

C: カートリッジは収納部に保持される

D: 収納部全体を回転する回転手段がある

E: 収納部を回転させることで、任意のカートリッジが選択される

F: 抽出部にはカプセルに穴をあけて抽出液を取り出すための手段がある

The technical drawing (Fig. 1) shows a cross-sectional view of a coffee machine. At the top, there is a carousel (10) with multiple cartridges (11) stacked vertically. Each cartridge contains coffee capsules (5). The carousel is mounted on a support platform (20). Below the carousel, there is a reception unit (43, 44) where the capsules are discharged. The reception unit is equipped with a toothed plate (45) to open the capsules and release the liquid extract. The entire apparatus is housed within a machine body (12).

この特許は開発技術コンセプトに近い内容が開示されていることがわかった。つまり、開発技術コンセプトをそのまま特許出願しても、特許を取得できない可能性がある。したがって、仕様やコンセプトの変更などをした上で特許出願する必要がある。

なお、この画面では、本特許の書誌事項が表示されているが、タブを切り替えることで明細書本文、請求項、図面などにアクセスすることができる。また、PatentScope ではパテントファミリーを表示させることはできない。

なお、欧州特許を対象とした検索事例として、本稿では英語を検索言語に指定したが、PatentScope を利用して検索をする際には検索言語の指定を適切に行うことが重要である。英語以外の言語で出願されている公報、例えばドイツ語、フランス語で記載された欧州特許を検索するためには、それぞれの言語による KW も加えて検索することが望ましい。

<ドイツ語およびフランス語で検索する例>

AND	▼	発明の名称	▼	=	
AND	▼	要約	▼	=	Kaffee or café
AND	▼	出願人氏名 (名称)	▼	=	
AND	▼	国際特許分類	▼	=	
AND	▼	発明者氏名 (名称)	▼	=	
AND	▼	官庁コード	▼	=	
AND	▼	明細書	▼	=	
AND	▼	請求の範囲	▼	=	
及び		ライセンシングによる利用可能性		=	☐
(及び		発明者氏名 (名称)	▼	のデータ	☒ N/A ☐ Yes ☐ No

言語	【全言語】 ▼	語幹処理適用:	☒
----	---------	---------	-------------------------------------

◆まとめ

自社の開発技術（あるいは出願しようとしている技術）に対応する適切な IPC を設定し、かつ適切な KW を設定し、PatentScope を利用して検索を行うことで、自社の開発技術に近い先行文献を把握することができる可能性がある。このような先行文献を出願前に把握することができれば、出願自体の要否の判断材料、あるいは出願内容の修正の材料とすることができる。

欧州特許を対象とした検索事例として英語を検索言語に指定したが、PatentScope を利用して検索をする際には検索言語の指定を適切に行うことが重要である。英語以外の言語で出願されている公報、例えばドイツ語、フランス語で記載された欧州特許については、それぞれの言語による検索をすることが望ましい。

ここでは欧州特許に限定した検索を紹介しているが、国限定をしなければ広範囲の国々において網羅的に出願前調査を行うことも可能である。

Point

開発技術の構成要件を確認したうえで予備検索を行い、適切な特許分類や KW の選択および組み合わせ・掛け合わせについて十分確認・検討しておく必要がある。

必ずしも国を限定する必要はない。もし限定するのであれば、技術的に見て、先行文献が見つかりそうな国を指定すれば良い。

PatentScope はテキスト情報が原語で収録されているので検索をする際には検索言語の指定および KW の言語設定を適切に行うことが重要である。